

やっちく瓦版

鹿児島県志布志市松山町
発行 大隅の國
やっちく松山藩
やっちく瓦版所
TEL 099(487)2111
第11号 平成23年10月

いざ出陣! 「第二十三回 やっちく 秋の陣まつり」



第23回やっちく秋の陣まつりポスター

いよいよ来る、十一月十二日
十三日に、開藩より二十三
年目を迎えた。
大隅の國やっちく松山藩のメ
インイベント「第二十三回 やっ
ちく秋の陣まつり」が、例年通り、
志布志市松山町城山運動公園内
多目的広場にて開催されます。
本年度は、三月に発生した東
日本大震災で犠牲になられた方
への哀悼の意を表すとともに、
被災された多くの方々へ復興の
願いを込めて「かんばろう東日
本・がんばろう日本 復興支援」
と銘打って、大隅の國 やっち
く松山藩 志の町より元気に開
催致します。
風は南から、情熱と旋風
を吹き起こす厚いまつりを発信
する為、今年もまた確実に、着
実に、準備を進めている所であ
ります。
「秋の陣まつり」は、来て、見



メインゲストのいっこく堂

て、参加して、初めて魅力いっ
ぱいの志を実感できる身近な
テーマパークです。皆さんも是
非一緒に参加して、まつりを盛
り上げて頂きたいと思えます。
また、今年の「秋の陣まつり」
はメインゲストに、日本だけに
留まらず海外でも活躍されてい
る、腹話術エンターティナーの
「いっこく堂」さんをお招きして、
一流のショーと笑いを楽しんで
頂きたいと考えております。そ
の他、更に充実の子ども広場、忍
者屋敷、や各種舞台演芸も盛り
だくさんで準備しております。
益々楽しさいっぱい「やっ
ちく秋の陣まつり」にどうぞ
ご近所・ご家族みんな揃って遊
びに来て下さいね。スタッフ一
同精一杯の「おもてなし」でお
迎えしたいと思えます。



野菜の大盤振舞いの様子

がんばろう東日本 がんばろう日本 復興支援

やっちく松山藩に 今できること

五代目藩主 坂元 正人



東日本では三十一大
震災に見舞われ、災害
とともに原発事故も国
民を苦しめ、働き口や
住む家をなくした多く
の方々が途方に暮れて
います。
津波による復興も進まず原発事故の収
束もつかない今、私たちに何ができるの
か：祭りなどに無駄な浪費をしていいも
のだろうか：と考えさせられもします。
しかしながら、再起は始まったばかり、
これから日本国民すべてが協力してこの
国難を乗り越えていかなければなりません。
被災にも遭わなかった我々が、被災
地の方々と同じように落ち込んでいて

出陣式



藩主のあいさつ

九月三十日 に道の
駅「松山」で約八十人
が参加して「第二十三
回秋の陣まつり」の出
陣式が開催されました。
約一ヶ月後に控えた
「秋の陣まつり」に向け
ていよいよ本格的な準
備が始まります。
吉田隆司藩主より、
東日本大震災から一日
も早い復興を祈り「がん
ばろう東日本 がんばろ
う日本 復興支援」を
掲げ、頑張っていきま
しょうと熱き言葉をい
ただきました。



は、復興の力になりえるでしょうか。
現在、祭りの準備が行われており、ボ
ランティアの皆さんには、大変なご苦労
をおかけしているところですが、この祭り
は、ボランティアに参加された方々のほ
んどが、来場者の笑顔を見ることで、
やり遂げた充実感と苦労が報われた」と
いう声を聞くことのできる祭りです。
やっちく松山藩は色々な活動をしてい
ますが、まずこの祭りを通してボラン
ティアの必要性や、チームワークの大切
さを考え、人の苦労や痛みをわかる人づ
くりを続けていきたいと思っております。
この事が地域づくりの源となり、地方の
元気が日本の復興の手助けになるのでは
ないでしょうか。
どうぞ、秋の陣祭りへのご理解とご協
力をお願い申し上げます、復興へ向けてみ
なで頑張っていきましょう。

がんばろう東北!!

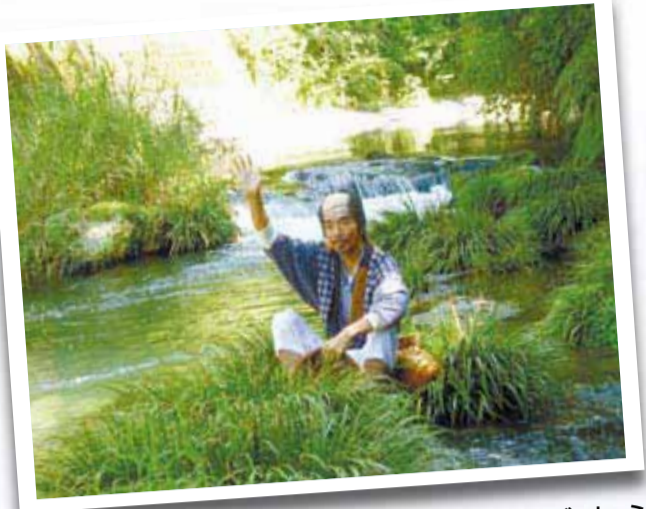
城代 山口 健吾



又、今年のポスター
は東日本大震災に向け
ての「祈り」の願いも
込められております。
最後は、皆で勝鬨を
あげ、まつりの成功を
願い残り約一ヶ月頑
張って準備していきま
す。
二十三日
早や城代を
して、三年
目があつと
いうまに過
ぎてしまいました。
今年、日本各地で大災
害が起き、東日本大震災、
和歌山・三重・奄美の大雨、
集中豪雨と今までと違う自
然災害が起き、悲しみの多
い毎日でした。
やっちく松山藩としても
少しでも言う気持で東日
本大震災の支援物輸の配送
のお手伝いをさせて頂いた
きました。皆様のご支援ご
協力のおかげで多くの支援
物を送ることができました。
最初は祭り自体も出来る
かどうか変わらない状態で
したが、地域・地方が元氣
がないと復興はないと思
いながらも喜び、楽しさが味
わえるよう努力していきた
いと思えます。
是非、やっちく松山藩秋
の陣まつりに足を運んでい
ただき、盛り上げていただ
ければ幸いです。

KKBふるさとCM大賞「とったど〜!」 篇制作

大賞目指して!!



今回は、ウナギをテーマにしました。夏井にある水産総合研究センターでは、世界で初めて人工ふ化養殖に成功し、シラスの漁獲高が減っていき中で、人工増殖には大きな期待が寄せ



今回は、ウナギをテーマにしました。夏井にある水産総合研究センターでは、世界で初めて人工ふ化養殖に成功し、シラスの漁獲高が減っていき中で、人工増殖には大きな期待が寄せ

聞くと、病気の前に、病気がちな妻が食べ終えたとたん元気に踊り出します。一年後、ラブラブな二人の前に、生まれたばかりの元気な男の子の赤ちゃんの赤ちゃんと娘が遊んでいました。田吾作は最後の「あり

られています。大隅地域はウナギの養殖日本一の知名度は低く、ウナギのもつパワーとおいしさで、ウナギで元気な志布志市」を多くのの人に知ってもらうために制作しました。



がとう!」ですべてのものへの感謝を伝えています。撮影場所は、うなぎを採る川は市役所松山支所近くの松尾川で、娘と妻の待つ貧しい家の中は、居酒屋「花ん華」を撮影のために改造し、家はミニチュアを制作係に作っていただきまして、撮影に協力ありがとうございました。皆さんありがとうございました。



11月12日(前夜祭) ± 13日(本祭) 秋の陣まつり!!

やっちく武者修行報告

三月二十七日、二十八日、やっちく武者修行に参加し、この研修の一番の目的である戦国肥後国衆まつり大会事務局との意見交換会をおこないました。このまつりでは大会役員と一般募集による武者の合戦が見どころで、全員甲冑で身をつつみ、鉄砲や騎馬隊、大将同士の戦の様子は毎年県内外からも来場者が来る迫力あるもの



です。この研修の中で主催者も大事だがそれに携わる関係者の協力も必要と感じました。最後にお互いのイベント会場で逢いましょうと話し意見交換会は終了しました。



桜の植樹、大先輩と語る会

三月二十六日、春のぼかばか陽気の中、今回で五年目となる桜の植樹が行われました。これは、やっちく藩士で、曾於八景桜の名所になっている松尾城址に、桜の苗木を植樹並びに古木の伐採等、環境整備を行っている事業です。これまでに延べ三〇〇本以上の苗木を植樹し、毎年



武者修行 今後予定 やっちく 藩士

春には多くの見物客を楽しませてあげたいです。同日、町内の「大先輩と語る会」も開催され、グラウンドゴルフ大会で大先輩方と一緒に汗をながした後、意見交換会もお開かれ、貴重な意見をお伺いしました。今後の活動に大いに活かしていきたいと考えております。



- 今後予定
- 11月5日土 松山城上棟式
- 11月11日金 松山城下町設営
- 11月12日土 第23回秋の陣まつり 前夜祭
- 11月13日日 第23回秋の陣まつり 本祭
- 11月14日月 秋の陣まつり片付け

名前 北之園 稔 (きたのそのみね)

誕生日 1979.11.29

星座 いて座

血液型 A

仕事 大工

コメント
派手さはないが、仕事一筋男粋。やっちく命と今日も行く!! シャイでcoolな、稔をヨロシクね!

編集後記
朝晩の気温も下がり、秋の色が見えてきました。やっちく松山藩秋の陣まつりが近づいてまいりました。今年の日本は、新燃岳噴火、東日本大震災、相次ぐ台風の影響等々、本当に災害の多い年となっております。が、「がんばろう日本」と銘をうち秋の陣まつりを開催します。

顧問編集員 野村 広志
坂元 正人
吉田 隆司
内野々
山下・増田・大野・上村・阿瀬知 匡
副編集長 渡邊 春宣
編集長 編集員

